

第3回大阪府市都市魅力戦略推進会議 議事概要

1 開催日時

平成 25 年 3 月 21 日(木) 9:00～10:00

2 場所

大阪市公館

3 出席者

橋爪委員、池末委員、太下委員、嘉名委員、橋本委員

大阪商工会議所 中川地域振興部課長、関西経済連合会 坂本地域連携部参事

4 議事概要

1) 大阪の国際化戦略（素案）について

【事務局より説明】

（池末委員）

- ・ 前回意見させていただいた内容については概ね反映させていただいており特に意見はない。ただ1点2ページのところで、欧米等の地域については「特定分野に絞り込んだ」という表現になっているが、これは「着目した」など、表現を工夫した方が良いのではないか。

（中村国際交流・観光課長）

- ・ 基本はアジア重視だが、交流していくことについて大阪にメリットがあれば進めていくという趣旨であり、おっしゃる通り表現については検討する。

（橋爪委員）

- ・ 欧米“等”という表現は、南アメリカやアフリカなど他の地域も含めてという意味であろう。その辺りも含めて書き方について工夫してほしい。

2) その他

【都市魅力創造戦略の推進（25年度の取組）について事務局より説明】

（太下委員）

- ・ 水と光のまちづくり及び観光局の組織形態はどのようなものになっているのか？

（木村都市魅力課参事）

- ・ 水と光のまちづくり推進会議は府市経済界等で構成する協議会であり法人格はない。水都大阪パートナーズは現在公募中であるが法人を対象としている。また水都大阪オーソリティは府市共同での

行政組織である。

- ・ 観光局は財団法人である大阪観光コンベンション協会に事業をお願いすることになっている。

(大商 中川課長)

- ・ 観光局の英語表記は決まっているのか？

(中村国際交流・観光課長)

- ・ 公的な意味合いを前面に強く押し出すため、Osaka Government Tourism Bureau となる。

(橋爪委員)

- ・ 財政状況が厳しい中、府市ともに予算確保に努力いただいたと感じている。
- ・ 御堂筋 kappo とフェスタが一元化され予算が削減されていることは残念
- ・ 府立図書館については重要文化財にふさわしい利活用をとこの会議の中でも繰り返し申し上げてきたが、都市魅力向上の観点からの事業が、来年度の取組に挙げられてないことは非常に残念。

(嘉名委員)

- ・ 中之島ミュージアムアイランド構想は西側は美術館を中心とした新しいものを、東側は歴史的なものを活用しようという広い範囲のものであったはず。新しい美術館は確かにKEYではあるのだが、中之島4丁目だけでなく民間施設との連携も含めた広い検討をお願いしたい。特に東側についてもミュージアム構想はこんなものだというものを強く打ち出してほしい。

(橋本委員)

- ・ 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進事業について、世界文化遺産という文言は正しくないのでは？文化遺産として世界遺産登録をめざすということでは？

(大下都市魅力創造局長)

- ・ 事業名については府民に分かりやすい表現にしており、正式な申請とは別にしている。世界遺産の登録申請については専門家にも入ってもらって検討しているため、相談の上検討したい。

(池末委員)

- ・ 本会議では基本的な方向性等について検討し、3つの重点取組など各施策の具体的な取組み内容についてはそれぞれ各団体に任せるということになっているが、今後具体的な内容が決定していく過程において、本会議と協議する場があるのか？

(中村国際交流・観光課長)

- ・ 観光局については、大阪観光局評価委員会を設置し、目標の達成度合いなどを評価し、PDCAサイクルを回していく。

(大下都市魅力創造局長)

- ・ 水都については、現在パートナーズの事業者募集中であるが、別途アドバイザリーボードを設置し支えていく。アーツカウンシルについては今後、統括責任者を公募していく。
- ・ いずれも適宜この会議において報告等をさせていただく予定である。

(橋爪委員)

- ・ これまで別々で取り組んでいた府市で進める案件については特に前向きに進めていただきたい。

**【中之島ゲートエリア魅力創造基本計画(案)、
北新地ガーデンブリッジカフェ社会実験と方向性について嘉名委員より説明】**

(橋爪委員)

- ・ 基本計画(案)の(案)はいつ取れるのか？
- ・ 空間デザインコンペについては具体的にはどのようなイメージか？

(福森都市魅力課参事)

- ・ 先月に地元や民間企業等も含めて検討会を行い将来像の共有を行ったので一定の計画としては固まっているが、地権者等との話は並行して進めているため、本計画案により協議を進めていきたいという趣旨。これまでの行政計画とは違い、民の意見も聞きながら成長していく計画。

(嘉名委員)

- ・ この計画自体が前例のないものであり他人の土地も含めての計画であるためこのような形になっているが、基本計画(案)ではなく基本計画案と呼ぶべきかもしれない。
- ・ コンペについてはまだ詳細は分からないが、全体のマスタープランをアイデアコンペとしてやるやり方もある。

(橋爪委員)

- ・ 夢のようなアイデアコンペでは意味がなく、事業の裏付けが必要である。実際の形があるコンペとなるようにしていただきたい。
- ・ ステージ3は2020年～となっているが目標年次のイメージはあるのか？

(福森都市魅力課参事)

- ・ スタンダードな年次で計画。但し、民間開発は状況によっては短くなる可能性もあり、2020年より前倒しでステージ3に入ることもある。

(橋爪委員)

- ・ これらの取組については大阪商工会議所も力を入れられているところでもあり、経済界も是非とも連携をお願いしたい。

(池末委員)

- ・ B I Dや民間の負担なども含めたエリアマネジメントなどの検討もあるのか？

(嘉名委員)

- ・ エリアマネジメント組織をイメージして取り組んでおり、法令等の仕組みについても別途検討を進めたい。場合によってはステージ3を待たずにB I Dを取り入れる可能性もある。

【観光WG報告 橋爪WG長より報告】

(橋爪委員)

- ・ 2月18日に第1回観光WGを開催し、大阪観光局に係る「事業評価」と「事業内容」について議論した。
- ・ 事業評価については、事務局から、外国人旅行者数を主な評価指標とし、宿泊者数、満足度、消費金額等を副指標とすること、目標達成度合いを観光局長の報酬等に反映させること、また、観光局の評価は、4月以降に設置する大阪府・大阪市・経済団体・有識者で構成する「大阪観光局評価委員会」において行うことなどが示された。
- ・ 内容については妥当であったので、この方向性に沿って、評価の詳細については、事務局案をもとに、評価委員会で決定していくことを確認した。
- ・ 事業内容については、観光局長就任予定者である「加納國雄氏」から説明を受けた。
- ・ 観光局の目標達成に向けて、外国人旅行者のニーズを的確に捉えるためにマーケティングを重視すること、事業効果に結びつけるためフォローアップを徹底すること、などの基本的理念のもと、海外プロモーションや集客イベントの実施、受入れ環境の整備などに取り組んでいくとのこと。
- ・ 今後、観光局長のノウハウを十分に発揮していただき、行政や経済界がサポートしながら、外国人旅行者の集客を促進していくことを確認した。
- ・ 私も本会議においてVISIT FOR LONDON やシンガポール政府観光局のようなものをめざしたいと繰り返し述べてきたが、この大阪観光局には期待しておりぜひ成果を出していただいたい。
- ・ 2014年にはU S Jにも新たなテーマパークが創設され相当数の外国人観光客が大阪にやってくると思われる。彼らをリピーターとして取り込んでいくことが大事である。旅行客数はもちろん大阪のイメージアップを図っていただきたい。